

平成24年度 第1回学校関係者評価報告書

鳥取県立米子高等学校
 学校長 末次 壽也

評 価 日		平成24年6月13日（水）	
委 員	氏 名	年齢 性別	資格・所属等
	伊藤ひろえ	同窓会副会長、米子市議会議員	委員長 ○
	山本 博美	保護者代表、PTA会長	
	勝部 慎哉	異校種代表、米子市立尚徳中学校長	
	長谷川一成	地域代表、自営業	
	岩永 誠一	元PTA会長、会社役員	

評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等
1. 前年度の最終評価について ・ 具体目標に対し、具体方策・達成状況が連動していない。評価結果も連動していない。 ・ 内向きの表現箇所がある。外部に対しての発信としてふさわしくない。 ・ 進路実績について何をもって実績というのかが不明確である。 2. 今年度の評価計画について (1) 目標設定について ・ 人権教育の項目がなくなっているがなぜか。 (2) 目標達成のための取組について ・ 生徒会活動は昨年度は評価が B であったが、今年度の具体方策が昨年度とまったく同じなのはおかしいのではないか。 ・ 前年度の達成状況・改善方策と今年度の取り組みがリンクしていない部分がある。 ・ 昨年度評価が不十分だったものをどう改善していくのかがわかりにくい。 (3) 評価基準及び評価指標について ・ 具体目標が目標となっていない部分がある。具体方策と混在している。目標については、時期、数値など客観的に判断できるようなものが望ましい。その方が評価においても客観性がでる。 3. 学校運営への提言 ・ 授業を参観して生徒は概ね集中して臨んでいたが、少人数の授業では机の配置等もっと工夫できる点があるのではないか。 ・ 近年、コミュニケーション能力の低下が指摘されている。授業内でもそこに視点を当てたメニューを用意する必要がある。 ・ 校内に生徒の作品（絵画・デザイン等）が多く飾っているのは大変よいが、他にも陶芸・写真・染色等の米子高校ならではの作品もたくさんある。それらも日常的に展示できないか。 ・ 生徒の作品を集めた作品集、ホームページのコーナー等を考えてもよいのではないか。	・ 今年度からは連動させるように様式も工夫した。 ・ 今後表現も含めて吟味したい。 ・ 進学者数・就職率のみではなく、そこに至る経緯も含めて考慮すべきだと考える。 ・ 分掌再編も絡んで、独立した項目としてはなくなったが、取り組み自体は昨年と同様に行う。 ・ 目標が達成できるよう分析し改善したい。 ・ 指摘された部分については改善したい。 ・ より具体的に表記したい。 ・ 具体目標を再考したい。また、その方策についても整理したい。 ・ 教員相互の授業参観を通して、少人数授業の利点を活かすことを指導したい。（同上） ・ 展示スペース等の物理的な課題もあるが検討したい。 ・ 検討したい。